

大麦の出穂予想と 今後の管理

長岡農業普及指導センター 麦作情報No. 3

代表電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

消雪後、気温が高く推移したため、例年になく生育が早まっています。すでに止葉抽出期を迎えているほ場が見られます。まだ止葉抽出期追肥を実施していないほ場では、必ず追肥しましょう。

※ ミノリムギは、以前作付していたはねうまもちに比べて稈長が長くなりやすく、倒伏しやすいため茎立期追肥を実施していなくても、施肥上限内で施用を行う

～今後の管理対策ポイント～

1 生育状況

- 今年の根雪期間（長岡アメダス）は72日間と過去10年の平均より9日長くなったが、消雪後の3～4月は高温・多日照で推移したため生育は順調であった。
- 管内の茎立期は平均3月23日となり、平年よりも生育は早い（前年差-17日、平年差-3日）。

2 止葉抽出期・出穂期予想（4/6・7調査） 今後の気象によって変動します。

地域	止葉抽出期	出穂期（予想）
長岡・三島	4月6日～4月18日頃	4月20日～4月29日頃
寺泊・出雲崎※	4月2日～15日頃	4月15日～4月29日頃

※寺泊・出雲崎は、生育のばらつきが大きいので、ほ場毎に生育を確認しましょう。

3 赤かび病防除の徹底（基幹防除として必ず実施）

【赤かび粒混入（被害粒基準）】

食用麦の農産物検査基準（規格）では、赤かび粒の混入限度は0.0%。

⇒ 10,000粒に5粒赤かび粒があると規格外になります。

(1) 感染・発生

- ・開花期から乳熟期に感染し、収量や品質を低下させる。
- ・症状等は穂の病斑部に淡紅色のカビを生ずる。
- ・出穂期～乳熟期に雨が多い高温年に多発する。

(2) 防除時期（被害粒の発生を抑制するため、適期の2回防除が重要!）

- ・防除適期：1回目 ⇒ 開花始めから開花期（出穂期の4～7日後頃）

※ 開花を始めた時（開花始め）から全ての花が咲き終わるまでに1週間ほどかかる。

2回目 ⇒ 1回目の7～10日後

※ 防除は適期を逃さないことが重要であり、防除適期に降雨が多い場合であっても晴れ間を利用して、確実に防除を実施する。